



# 浦島伝説

令和6年 4月19日

第2号

## 「ためらいを 捨てましょう」



始業式で自分を変える大きな「CHANCE」の時であるという話をしました。自分を変えるということは、少しの勇気が必要です。「CHANGE」を「CHANCE」に変えるには.....

### 「CHANGE」 → 「CHANCE」

この「G」の丸で囲った小さい「T」をとればいいのです。この小さな「T」を私は、みなさんにどのように話したか覚えていますか？私は、TAMERAIの「T」と言いました。「自分には変わることは、できないんじゃないかなあ」とか「急に変わったらみんなに褒められるんじゃないかなあ」という「ためらい」を捨てましょう。と言いました。野球のWBC決勝戦前に大谷選手は、チームメイトに向かって「憧れるのをやめましょう」と言ってチームをまとめ、誰もが憧れるアメリカチームに勝ち、優勝しました。大谷選手は、その時に名前を挙げていたムーキー・ベッツ選手と今は、同じチームで戦っています。お互いを認めあい、高め合いながらロサンゼルス・ドジャースで1番と2番を打って2人とも大活躍です。新学期を迎えた詫間中学校を一つにまとめるために「ためらいを捨てましょう」

ためらわず、新しい自分になら変わっていきましょう。去年はうまくいかなかったこと、自分の中にある後悔や反省を「×」で表すとしたらこの「×」は少し回してみると「+」（プラス）に変わりますよね。ほんの少しだけ勇気を出して「なりたい自分」に向かって一歩を踏み出していきましょう。詫間中学校では、各学年団、各学級、各班、各部活動で一歩一歩「なりたい自分」に向かって進もうとしている仲間を全力で応援していこうではありませんか。みなさんの成長を楽しみにしています。

#### 「あいさつ」を考える

- あ・・・明るく、温かく
- い・・・いつでも、誰にでも
- さ・・・先に、すすんで
- つ・・・続けて、次の言葉を

さて、あいさつのできる学校を掲げている詫間中学校のみなさんに問います。できていますか？あいさつをされたから返している生徒があまりにも多いように感じます。自分発信のあいさつに変えていきませんか。先に、すすんでをみんなではじめてみませんか。

**『あいさつの4ヶ条』で、相手の心に迫ろう！**

「あいさつ」は「明るく、温かく」「いつでも、誰にでも」  
「先に、すすんで」「続けて、次の言葉を」

あ

い

さ

つ

4ヶ条を意識した日頃からの「あいさつ」実践により  
錆びつきや億劫さを取り除き、相手の心に迫る！